

報道関係 各位

2016年7月16日

株式会社日本レースプロモーション

7月16日(土)～17日(日)

2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第3戦 富士スピードウェイ  
予選結果速報

ストフェル・バンドーン(ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング)が、  
初のポールポジションを獲得!

2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第3戦 富士スピードウェイ の公式予選が、静岡県駿東郡 富士スピードウェイレーシングコース(1周:4.563km)で開催されました。

2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権は、全7戦、日本全国6カ所のサーキットを転戦しながら、11チーム(エントラント)、国内外の19名(19台)のドライバー(※)がチャンピオンを争う、アジア地域唯一の国際格式フォーミュラ選手権シリーズです。尚、今シーズン第5戦は、オートポリスでの開催中止決定を受け、代替レースの会場として岡山国際サーキットにおいての開催となります。

(※)ドライバー:国内:12名、海外5カ国:7名(イギリス2名、インド、ドイツ、ブラジル各1名、ベルギー2名)

公式予選は、ウェットコンディションのなかで行なわれ、ストフェル・バンドーン(ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング)が、1分40秒778のタイムによって、スーパーフォーミュラ参戦3戦目で初となるポールポジションを獲得。2番手は石浦 宏明(プロムュー/セルモ インギング)が1分41秒050のタイムで続き、3番手にはジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ(イトウチュウ エネクス チーム インパル)が1分41秒132で続きました。

決勝レーススタートは、明日7月17日(日) 14時00分を予定しています。

※記録の詳細は、別添付公式通知「公式予選総合正式結果表」をご参照ください。



初のポールポジションを獲得した ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング #41 ストフェル・バンドーン

Series Partner

**HONDA TOYOTA**

Series Supporter

**YOKOHAMA**

Promotion Partner

**HITACHI**  
Inspire the Next

**J SPORTS**

**SONY**  
Action Cam

**NIKKI-ICHI**  
人気酒造

## 【ご参考】

### 1. 全日本スーパーフォーミュラ選手権とは？

純然たるレーシングマシンであるオープン・シングルシーターのフォーミュラカーによって競われる国内最高峰の自動車レースです。一般社団法人日本自動車連盟(JAF)が公認し、株式会社日本レースプロモーションのプロモートにより、1996年にフォーミュラ・ニッポンとしてスタート。2013年より名称をスーパーフォーミュラに変更し現在に至っています。

### 2. チャンピオンシップ

2016年全日本スーパーフォーミュラ選手権は、全7戦、日本全国6カ所のサーキットを11チーム(エントラント)、国内外の19名(19台)のドライバー(※)が転戦しチャンピオンが争われる、アジア地域唯一の国際格式選手権シリーズです。

(※)ドライバー:国内:12名、海外5カ国:7名(イギリス2名、インド、ドイツ、ブラジル各1名、ベルギー2名)

#### 2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 ポイントシステム

順位	優勝	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位以下	P.P.
1大会1レース	10	8	6	5	4	3	2	1	0	1
1大会2レース	5	4	3	2.5	2	1.5	1	0.5	0	1

\* P. P. : ポールポジション(予選1位)には、ドライバーにのみ1ポイントが与えられる。チームポイントには加算されない。

\* 1大会2レース制の場合、レース1、レース2共に1レース制の得点の半分が与えられる。

\* 1大会2レース制の場合、最終戦に限りレース1、レース2の勝者には通常ポイントとは別に3ポイントが与えられる。これによりポールポジション+2連勝で最大18ポイントが与えられる。

\* 最終戦終了時点で、複数のドライバーまたはチーム(エントラント)が同一ポイントを獲得している場合は、高得点を得た回数が多い順に順位を決定する。

### 3. シリーズ賞典

シリーズ賞典として、年間チャンピオンドライバーには、株式会社日本レースプロモーションよりシリーズドライバーズチャンピオンカップと賞金が授与されるほか、自由民主党モータースポーツ振興議員連盟より同連盟杯が贈られ、観光庁より観光庁長官杯が交付されます。また年間チャンピオンチームには経済産業省より経済産業大臣杯が交付され、株式会社日本レースプロモーションより賞金が授与されます。

### 4. レース車両

#### ◎シャシー

「クイック・アンド・ライト」をキーワードに開発されたSF14(イタリアダラーラ社製)を2014年より採用。

SF14は、キーワードの「クイック・アンド・ライト」特性を活かし、コーナリングスピードではフォーミュラ1マシン以上のパフォーマンスを叩き出します。この車両を採用して以来、レースの質が一気に向上したことから海外からの注目を集めるようになりました。

#### ◎エンジン

日本を代表する自動車メーカーであるホンダとトヨタが次世代エンジン開発に貢献するコンセプト=NRE(※1)に基づき開発したHONDA HR-414E、TOYOTA RI4A を搭載しています。

このエンジンの特徴としては「燃料リストラクター」(燃料流量規制システム)を全機装備し、燃料流量を一定にすることにより燃料をいかに効率良く活用しパワーに結びつけるかが、勝負の鍵となります。

厳しい開発競争の結果、効率の良さを図る“正味燃費消費率(BSFC)”、“正味熱効率”では市販ハイブリット車以上の性能を発揮しており、次世代エコエンジンの開発に貢献しています。

(※1)NRE エンジンについて

ホンダ、トヨタ、ニッサンが、環境技術とモータースポーツの面白さの両立に向けに決定したエンジン規定。

- ・気筒配列 : 直列4気筒
- ・排気量 : 2,000cc+ターボ
- ・燃料吸気方式 : ダイレクトインジェクション
- ・燃料流量制限 : 鈴鹿、富士大会…燃料流量95kg/h  
その他大会…燃料流量90kg/h

◎オーバーテイクシステム

レースを盛り上げる一助として、オーバーテイクシステム(以下OTS)を2009年より採用しています。このシステムは、スーパーフォーミュラが始めた仕組みです。

当該システムはレースに於ける見せ場の一つである追い越しをより促すシステムです。

SF14のシステムは各エンジンに装備されている燃料リストリクターを活用し、燃料供給量を一時的に増加させパワーを上げることができます。(※2)ステアリングにあるボタンを操作し、1大会につき5回、各20秒間使用可能となります。使用中はドライバーのヘルメット後方にあるランプ(オーバーテイクランプ=OTL)が点滅し、観客からも視認できます。

またポイントリーダードライバーは、その栄誉を称える意味から1台だけ赤色のランプ(名称:リーダーズレッド)を装着しています。

(※2)オーバーテイクシステムの効果について

- ・メカニズム : システム作動時に燃料流量を10kg/h増加させる
- ・効果 : 約60ps、10%の出力増
- ・ルール : 1回に20秒間作動、1大会で5回使用可能

◎タイヤ

今シーズンより横浜ゴム製のワンメイク供給です。横浜ゴムの日本のトップフォーミュラ参戦は、1996年以来20年振りとなります。

横浜ゴムのスーパーフォーミュラ用ADVANレーシングタイヤは、スーパーフォーミュラが要求するグリップ、耐久性、安全性などの厳しい目標に対し、高いパフォーマンスを発揮、レースの盛り上げに貢献しています。

5. 公式予選

富士スピードウェイレーシングコース(1周:4.563km)を、決められた時間内に、各チームが1周タイムのベストをめざし、ノックアウト方式でタイムアタックを行います。

ノックアウト方式とは、予選時間を3つに分け、短いアタック時間の中、好タイムが出なければ文字どおりノックアウト(脱落)されることから、この呼称となりました。19台エントリーの場合では、まずQ1(20分間)で15位~19位のスタート位置を決定し、10分間のインターバル後、Q2(7分間)を行い9位~14位のスタート位置を決定します。さらに10分間のインターバルの後、Q3(7分間)を行い、1位~8位の決勝レーススタート位置を決定します。

## 6. 決勝レース

富士スピードウェイレーシングコースを55周、トータル250.965kmを走行します。

### 2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 開催スケジュール

日程	ラウンド/サーキット	予選方式	決勝レース方式
4 / 23 ~ 24	第1戦/鈴鹿サーキット	ノックアウト	250 km
5 / 28 ~ 29	第2戦/岡山国際サーキット	ノックアウト	250 km
7 / 16 ~ 17	第3戦/富士スピードウェイ	ノックアウト	250 km
8 / 20 ~ 21	第4戦/ツインリンクもてぎ	ノックアウト	250 km
9 / 10 ~ 11	第5戦/岡山国際サーキット (※)	時間 / ノックアウト	2 レース制
9 / 24 ~ 25	第6戦/スポーツランドSUGO	ノックアウト	250 km
10 / 29 ~ 30	第7戦/鈴鹿サーキット	ノックアウト	2 レース制

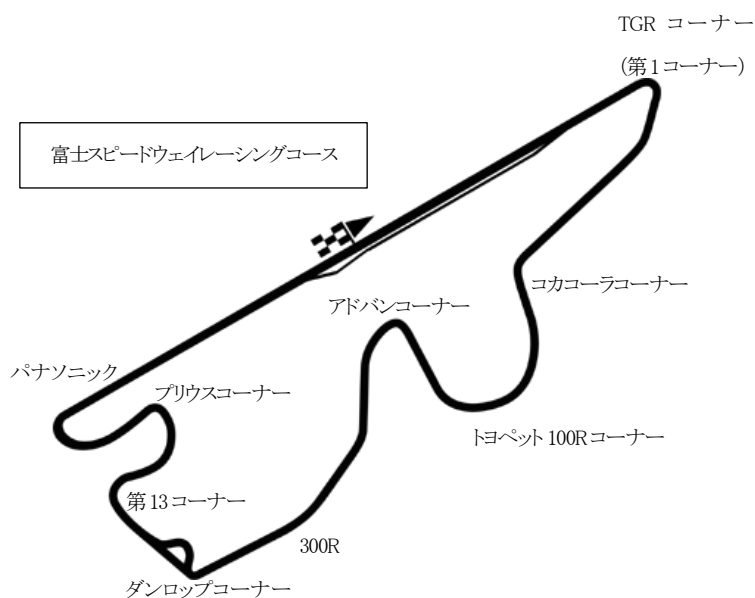
(※) 熊本地震により、第5戦のオートポリス開催は中止となり、代替レースとして岡山国際サーキットにて開催いたします。

## 7. 富士スピードウェイレーシングコースについて

富士スピードウェイは、今年50周年を迎える歴史あるサーキットです。

世界的に見てもとても長い、全長1,475mのストレートが特徴の一つで、レース中のスリップストリームを使ったエキサイティングな追い越しを見ることができます。TGRコーナー(第1コーナー)は、メインストレートでのスピードが乗った状態からのフルブレーキングによる進入が勝負所になり見どころの一つです。

また、アドバンコーナーから複合コーナーの300Rまでは、セッティング次第でダンロップコーナー手前の速度に大きな影響を及ぼします。シケイン形状のダンロップコーナーから、第13コーナー、プリウスコーナーの区間は、他のハイスピードエリアとは大きく異なり微妙なアクセルコントロールが必要です。最終コーナーのパナソニックコーナーの脱出速度が、メインストレートの最高速に大きく影響するため、丁寧に最短のラインレースが要求されます。



## 2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第3戦 富士スピードウェイ大会 エントリーリスト

(車両:SF14、タイヤ:ヨコハマタイヤ)

Car No.	ドライバー名	生年月日	出身地	チーム名 (読み)	監督	エンジン
1	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	1981/4/23	日本/東京都	P.MU/CERUMO・INGING (プロミュー/セルモ インギング)	立川 祐路	TOYOTA R14A
2	国本 雄資 Yuji Kunimoto	1990/9/12	日本/神奈川県			
3	ジェームス・ロシター James Rossiter	1983/8/25	イギリス	KONDO RACING (コンドーレーシング)	近藤 真彦	TOYOTA R14A
4	ウィリアム・ブラー William Buller	1992/9/17	イギリス			
7	ナレイン・カーティケヤン Narain Karthikeyan	1977/1/14	インド	SUNOCO TEAM LEMANS (スノコ チーム ルマン)	山田 健二	TOYOTA R14A
8	小林 可夢偉 Kamui Kobayashi	1986/9/13	日本/兵庫県			
10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	1986/11/20	日本/栃木県	REAL RACING (リアルレーシング)	金石 勝智	HONDA HR-414E
11	伊沢 拓也 Takuya Izawa	1984/6/1	日本/東京都			
16	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	1988/7/11	日本/栃木県	TEAM 無限 (チーム ムゲン)	手塚 長孝	HONDA HR-414E
18	中山 雄一 Yuichi Nakayama	1991/7/25	日本/東京都	KCMG (ケーシーエムジー)	土居 隆二	TOYOTA R14A
19	ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ Joao Paulo de Oliveira	1981/7/13	ブラジル	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL (イトウチュウ エネクス チーム インパル)	星野 一義	TOYOTA R14A
20	関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi	1987/12/29	日本/東京都			
34	小暮 卓史 Takashi Kogure	1980/8/1	日本/群馬県	DRAGO CORSE (ドラゴ コルセ)	道上 龍	HONDA HR-414E
36	アンドレ・ロッテラー Andre Lotterer	1981/11/19	ドイツ	VANTELIN TEAM TOM'S (バンテリン チーム トムス)	舘 信秀	TOYOTA R14A
37	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	1985/1/11	日本/愛知県			
40	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	1989/9/15	日本/茨城県	DOCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング)	村岡 潔	HONDA HR-414E
41	ストフェル・バンドーン Stoffel Vandoorne	1992/3/26	ベルギー			
64	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima	1989/1/29	日本/愛知県	NAKAJIMA RACING (ナカジマレーシング)	中嶋 悟	HONDA HR-414E
65	ベルトラン・バゲット Bertrand Baguette	1986/2/23	ベルギー			

Series Partner

**HONDA TOYOTA**

Series Supporter

**YOKOHAMA**

Promotion Partner

**HITACHI**  
Inspire the Next

**J SPORTS**

**SONY**  
Action Cam

**NIKKI-ICHI**  
人気酒造

## 2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 ポイントランキング

### ドライバーポイントランキング

順位	No.	ドライバー	ポイント	4/24	5/29	7/17	8/21	9/11	9/25	10/30	
				鈴鹿 Rd.1	岡山国際 Rd.2	富士 Rd.3	もてぎ Rd.4	岡山国際 Rd.5	菅生 Rd.6	鈴鹿 Rd.7-1	鈴鹿 Rd.7-2
1	16	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	13	<b>11</b>	2						
2	2	国本 雄資 Yuji Kunimoto	9.5	8	1.5						
3	10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	8	4	4						
4	41	ストフェル・バンドーン Stoffel Vandoorne	7	6	-	<b>1</b>					
5	1	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	6	-	<b>6</b>						
6	34	小暮 卓史 Takashi Kogure	5	5	-						
7	11	伊沢 拓也 Takuya Izawa	3	-	3						
8	3	ジェームス・ロシター James Rossiter	3	3	-						
9	40	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	2.5	-	2.5						
10	36	アンドレ・ロツテラー Andre Lotterer	2.5	2	0.5						
11	64	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima	1	-	1						
12	65	ベルトラン・バゲット Bertrand Baguette	1	1	-						
	18	中山 雄一 Yuichi Nakayama	-	-	-						
	19	ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ Joao Paulo de Oliveira	-	-	-						
	4	ウィリアム・ブラー William Buller	-	-	-						
	37	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	-	-	-						
	20	関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi	-	-	-						
	8	小林 可夢偉 Kamui Kobayashi	-	-	-						
	7	ナレイン・カーティケヤン Narain Karthikeyan	-	-	-						

\* 表中ポイント数字の **太字**:優勝 下線:予選ポールポジション

### チームポイントランキング

順位	チーム	ポイント	4/24	5/29	7/17	8/21	9/11	9/25	10/30	
			鈴鹿 Rd.1	岡山国際 Rd.2	富士 Rd.3	もてぎ Rd.4	岡山国際 Rd.5	菅生 Rd.6	鈴鹿 Rd.7-1	鈴鹿 Rd.7-2
1	P.MU/CERUMO - INGING (プロムュー/セルモ インギング)	14.5	8	<b>6.5</b>						
2	TEAM 無限 (チーム ムゲン)	12	<b>10</b>	2						
3	REAL RACING (リアルレーシング)	11	4	7						
4	DOCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモ:チーム・ダンディライアンレーシング)	8.5	6	2.5						
5	DRAGO CORSE (ドラゴ コルセ)	5	5	-						
6	KONDO RACING (コンドーレーシング)	3	3	-						
7	VANTELIN TEAM TOM'S (バンテリン チーム トムス)	2.5	2	0.5						
8	NAKAJIMA RACING (ナカジマレーシング)	2	1	1						
	KCMG (ケーシーエムジー)	-	-	-						
	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL (イトウチュウ エネクス チーム インパル)	-	-	-						
	SUNOCO TEAM LEMANS (スノコ チーム ルマン)	-	-	-						

\* 表中ポイント数字の **太字**:優勝

\* チームポイント:各チーム(エントリー)に所属するドライバーの獲得ポイントを合計。同一チーム(エントリー)に2台以上の車両が所属する場合は、上位2台分が得点対象となる。チームポイントには、ポールポジションのポイントは与えられない。

Series Partner

**HONDA TOYOTA**

Series Supporter

**YOKOHAMA**

Promotion Partner

**HITACHI**  
Inspire the Next

**J SPORTS**

**SONY**  
Action Cam

**NIKKI-ICHI**  
人気酒造

## —開催概要—

- 大会名称 : 2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第3戦 富士スピードウェイ
- 開催日程 : 2016年7月16日(土) 公式予選  
2016年7月17日(日) 決勝レース
- オーガナイザー : 富士スピードウェイ株式会社  
FISCOクラブ
- 公認 : 国際自動車連盟(FIA)  
一般社団法人日本自動車連盟(JAF)
- 認定 : 株式会社日本レースプロモーション(JRP)  
日本フォーミュラスリー協会(JF3A)  
モータースポーツアジア(MSA)  
Hondaファンメイクレース事務局(HORS)
- 後援 : 静岡県小山町／御殿場市／裾野市／公益社団法人静岡県観光協会／小山町観光協会／  
(予定) 御殿場市観光協会／裾野市観光協会／K-mix／東京中日スポーツ／中日スポーツ
- 同日開催 : 2016 全日本フォーミュラ3選手権 第9戦&第10戦  
N-ONE OWNER'S CUP Rd.7  
2016 GTアジア 第7戦&第8戦  
WAKO'Sスーパーカートカップ 第4戦

Series Partner

**HONDA TOYOTA**

Series Supporter

 YOKOHAMA

Promotion Partner

 HITACHI  
Inspire the Next

 J SPORTS

 SONY  
Action Cam

 NINKI-ICHI  
人気酒造



## 【TV放映予定】

### ● J SPORTS

全7戦の予選と決勝の模様をライブ中継。再放送やレースダイジェスト番組も放送します。  
また、決勝日の7/17は「真夏の全開 モータースポーツDay！」として、9時間完全生放送！(8:45～17:50)  
放送スケジュールは、「J SPORTSモータースポーツ」ウェブサイト内の「スーパーフォーミュラ」ページ、  
または「スーパーフォーミュラ オフィシャルウェブサイト」でご確認ください。

[http://www.jsports.co.jp/motor/super\\_formula/](http://www.jsports.co.jp/motor/super_formula/)、 <http://www.superformula.net/>

### ● BSフジ『スーパーフォーミュラ Go On!』

あの時、あの瞬間、何が起きていたのか？レースの裏側を独自の視線でたっぷり振り返るハイライト番組。  
ドライバーの想いやマシンに迫るミニコーナーなども加え、スーパーフォーミュラの魅力満載です。  
レース翌週の金曜日に初回放送！再放送あり。

<放送日時> ※放送日時は変更となる場合があります。

第3戦 富士スピードウェイ7/16～17	7/22(金) 23:00～23:55
	7/30(土) 23:00～23:55 再放送
第4戦 ツインリンクもてぎ8/20～21	8/26(金) 23:30～24:25
第5戦 岡山国際サーキット9/10～11	9/16(金) 24:00～24:55
第6戦 スポーツランドSUGO 9/24～25	9/30(金) 23:30～24:25
第7戦 鈴鹿サーキット10/29～30	11/4(金) 24:00～24:55
総集編	放送日未定

### ● フジテレビNEXTライブ・プレミアム(CS放送)『スーパーフォーミュラTV』

レースダイジェストとスタジオトークでスーパーフォーミュラの魅力を伝える30分の情報番組。  
ゲストには参戦ドライバーに加え、トップフォーミュラの歴史に名を馳せたレジェンドたちも出演します。  
過去の名場面から現在まで、二人のゲストがフォーミュラへの想いを熱く語ります。  
司会はフジテレビF1実況アナウンサーです。

<放送日時> ※放送日は、レース翌週の金曜日。再放送あり。

第3回のゲストは高木虎之助、山本尚貴。放送日は7/22(金)20:25～20:55。

詳しくは番組ホームページをご覧ください。 [http://otn.fujitv.co.jp/b\\_hp/914200066.html/](http://otn.fujitv.co.jp/b_hp/914200066.html/)

### ● フジテレビ(地上波)『超速GO音』

今注目のドライバーや監督を毎回ゲストに迎え、知られざるレースの魅力、ドライバーの凄さやプライベートを徹底的に語りつくす、スーパーなアスリートトークショー。

小林可夢偉と中嶋大祐の二人の参戦ドライバーがパーソナリティを務め、番組の進行はピエール北川、そして乃木坂46の樋口日奈がナレーションを担当します。

<放送日時>

第3回のゲストは、星野一義、関口雄飛。放送日は、フジテレビは7/3(日)26:35～27:05、

関西テレビは7/4日(月)26:42～27:17、テレビ静岡は7/10(日)26:35～27:05、に放送。

7/11(月)から動画配信サービスのFOD(フジテレビオンデマンド)で無料配信開始。

### ◎ 世界182カ国でスーパーフォーミュラの放送を開始！

今シーズンから各戦の英語版52分ハイライト番組が121カ国にて放送されることになりました。この時点で確定している視聴可能世帯数は約3500万、ニュースのみの露出を加えると182カ国でスーパーフォーミュラの映像が流れます。







# 2016 SUPER FORMULA

## Round 3 Fuji Speedway

### 7.16 (土) 7.17 (日)



28



SF - 5

### SUPER FORMULA 公式予選

2016/7/16 16:40



### 正式総合結果表

Fuji Speedway(4,563m)

Weather : (Q1)雨,(Q2)曇り,(Q3)曇り

Track : (Q1)ウェット,(Q2)ウェット,(Q3)ウェット

Pos	No	Name	Team	Engine	Best Time			Gap	Ave. km/h	
					Q3	Q2	Q1			
1	41	Stoffel Vandoorne	DOCOMO DANDELION M41S SF14	Honda HR-4	1'40.778	1'43.099	1'43.343		163.000	
2	1	Hiroaki Ishiura	P.MU/CERUMO-INGING SF14	TOYOTA R14	1'41.050	1'42.833	1'44.390	0.272	0.272	162.561
3	19	Joao Paulo de Oliveira	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14	1'41.132	1'43.326	1'44.188	0.354	0.082	162.429
4	65	Bertrand Baguette	NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-4	1'41.210	1'43.406	1'45.144	0.432	0.078	162.304
5	20	Yuki Sekiguchi	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14	1'41.238	1'43.186	1'44.208	0.460	0.028	162.259
6	37	Kazuki Nakajima	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14	1'41.240	1'43.148	1'45.134	0.462	0.002	162.256
7	36	Andre Lotterer	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14	1'41.268	1'43.464	1'44.337	0.490	0.028	162.211
8	64	Daisuke Nakajima	NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-4	1'41.289	1'42.845	1'44.872	0.511	0.021	162.178
9	8	Kamui Kobayashi	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	TOYOTA R14		1'43.519	1'44.482	2.741	2.230	158.684
10	10	Koudai Tsukakoshi	REAL SF14	Honda HR-4		1'43.812	1'44.875	3.034	0.293	158.236
11	3	James Rossiter	FUJI CORPORATION KONDO SF14	TOYOTA R14		1'44.144	1'44.723	3.366	0.332	157.732
12	7	Narain Karthikeyan	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	TOYOTA R14		1'44.402	1'44.516	3.624	0.258	157.342
13	2	Yuji Kunimoto	P.MU/CERUMO-INGING SF14	TOYOTA R14		1'44.636	1'44.837	3.858	0.234	156.990
14	16	Naoki Yamamoto	TEAM MUGEN SF14	Honda HR-4		1'45.239	1'44.909	4.461	0.603	156.090
15	18	Yuichi Nakayama	KOMG Elyse SF14	TOYOTA R14		1'45.147	1'44.369			156.227
16	4	William Buller	FUJI CORPORATION KONDO SF14	TOYOTA R14		1'45.322	1'44.544	0.175		155.967
17	11	Takuya Izawa	REAL SF14	Honda HR-4		1'46.041	1'45.263	0.719		154.910
18	40	Tomoki Nojiri	DOCOMO DANDELION M40Y SF14	Honda HR-4		1'46.046	1'45.268	0.005		154.903
19	34	Takashi Kogure	DRAGO CORSE SF14	Honda HR-4		1'46.234	1'45.456	0.188		154.628

\*\*\*\*\* 以上予選通過 (1'50.577 - 107%) \*\*\*\*\*

(Q1)S.Time 14:45'00 F.Time 15:06'08 (Q2)S.Time 15:14'59 F.Time 15:22'01 (Q3)S.Time 15:31'59 F.Time 15:39'13

Entry :19 Start :19

計時委員長

大会競技長

審査委員長

祝田久仁一

堀 守之

加藤 浩